



6月の園だより R3. 5. 28

おさかこども園



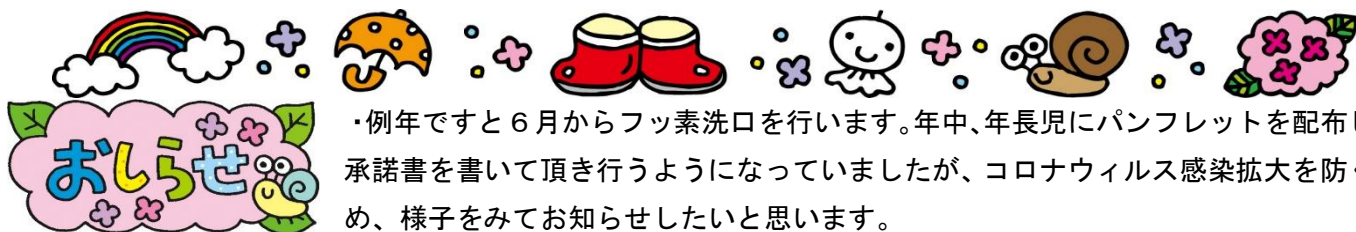
例年よりも早く梅雨の時期がきました。外で遊べる時期が少なくなりましたが、晴れの日には外でもいきり体を動かして遊んでいる子ども達です。

6月に予定していました保育参観は新型コロナウイルスが市内でも増えてきた為、延期することになりました。保護者の皆様は楽しみにされていたと思います。また、保護者会の奉仕作業等も計画していただいていましたが延期ということで大変申し訳ありません。早く収束することを願うばかりですが、私たちが今やらなければいけない感染予防にも引き続き努めていきたいと思っています。保護者の方もご協力お願いいたします。

6月のねらい

手洗い、歯磨きをしっかりと
する。

戸外で体を動かして遊ぶ



・例年ですと6月からフッ素洗口を行います。年中、年長児にパンフレットを配布し、承諾書を書いて頂き行うようになっていましたが、コロナウィルス感染拡大を防ぐため、様子をみてお知らせしたいと思います。

・プール開きを6月23日に予定しています。詳細については後日お知らせしますが、プールには塩素を入れます、皮膚が弱く塩素入りのプールに入れないお子さん、水イボのあるお子さん等は6月7日（月）までに担任の方に申し出て下さい。申し訳ありませんが別のプールで水遊びをしていただくことになります（大きいプールの横にビニールプールを置きます）。

・6月7日（月）は宮田地区が引き渡し訓練です。メールは午後3時に配信します。（迎えの時間は午後4時まで）詳細は4月26日に配布させていただきました。引き渡しの際には引き渡しカードの控え（白い紙）を記入して当日、お迎えの時に職員に見せて下さい。



・5月に一年生の様子を観に行ってきました。年長時の担任も来ていたので、大きな声で返事をし、張り切っている姿がみられました。先生の話をよく聞き、授業での約束事や文房具の扱い、2か月の間に色々なことができるようになり、感激してウルっとしそうになりました。改めて「幼児期に身に付けておきたい力」を感じてきました。

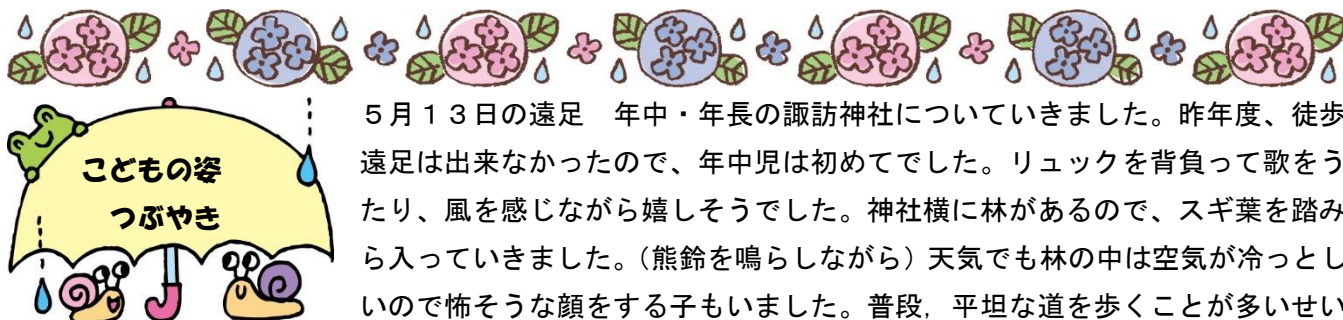


歯は大切な体の一部です。年長児になると歯が抜けるが増えてきます。先日、「歯が抜けた」と言ってきた子がいたので、「下の歯やし、屋根に投げた？」と聞くと、「なんか、がりがりしてお肉食べたみたいと思ったら飲み込んでしまった」と話してくれ可愛くて笑ってしまいました。又、A子ちゃんは歯が抜けた時、枕の下に入れて寝ると歯が‘素敵な物’に変わっていて、それは妖精が来て変えていってくれたそうです。ファンタスティックで可愛いお話です。子どもにとって歯が抜けることは当たり前のようですが、驚くお子さんもみえます。成長の証ですが可愛いお話で自然と受け入れることができますね。

・小坂地区引き渡し訓練 5月14日の引き渡し訓練は無事終わりました。ご協力ありがとうございました。反省点が2点でした。1点目はロータリーで車を駐車する時、最初に停車される方を一番前まで誘導すること、分かりやすいように目印をしておく。2点目は保護者カード（クラス・名前）を渡して引き渡しの時はフロントの所に置いてもらい分かりやすいようにしておく。（早々に考えていきます）

先日も大雨警報が発令されました。昨年度のことがあるので6月も心配です。安全にお子さんを保護者の皆様

に引き渡しすることが出来るよう考えていきますのでご意見があればいつでもお話しください。
メール配信もまだ登録されてみえない方は早目をお願いします。



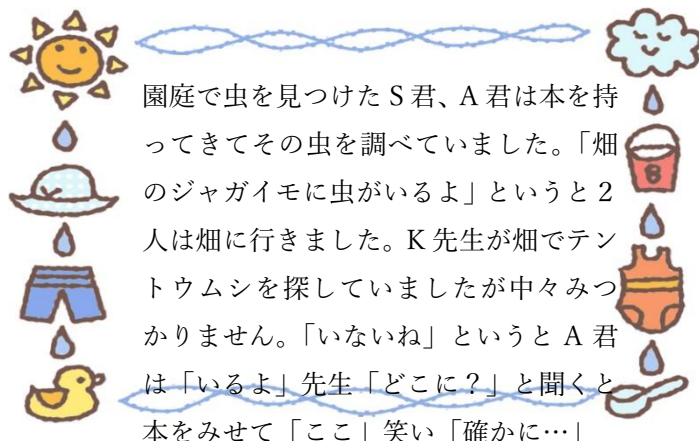
5月13日の遠足 年中・年長の諏訪神社についていきました。昨年度、徒歩での遠足は出来なかったもので、年中児は初めてでした。リュックを背負って歌をうたったり、風を感じながら嬉しそうでした。神社横に林があるので、スギ葉を踏みながら入っていきました。（熊鈴を鳴らしながら）天気でも林の中は空気が冷として暗いので怖そうな顔をする子もいました。普段、平坦な道を歩くことが多いせいかよく転びました。草や小枝が手や足に当たると「痛い」という子もいました。でも、上の方には上がっていきたくので、必死にスギ葉を避けて行ったり、何があるんだろうとウキウキした顔をしていく姿も見られました。行けるところまでいくと‘やった’という満足そうな顔をしていました。動物の糞をみつけたり、木の枝を拾いスギ葉をかき分けたり、木を叩いてみたり子ども達は林の中を探索し五感で自然を感じた時間でした。自然の中では普段の生活とは違ったことを学ぶいい機会です。帰る時は神社の神様に遊ばせてもらったお礼の気持ちをつたえました。

・さくら組のBちゃんは逆上がりで4つの鉄棒でやりたいと毎日練習をしていました。恥ずかしがりやなお子さんで嬉しい時はニサッと笑っていく感じです。3つ目の鉄棒が出来た時に「後1つやな」というと真剣な顔で「うん」と鉄棒をみていました。Bちゃんのあの真剣な顔を見たのは初めてでした。出来た時、私はいなかったので「見て」と言った時は腕の力を使い過ぎてできませんでした。「少し休んでパワーを溜めよ」「うん」とBちゃんはマットに休みました。「先生もう大丈夫」と言いまた挑戦しました。今までならそこで諦めることが多かったBちゃんでした。足は上がりましたが引き上げることが出来ず…もう一回、2、回‘できた’ 皆で大喜びです。Bちゃんはガッツポーズを小さくしました。嬉しかったんですね。その後4つばのクローバーをみつけてきました。願いが叶った四葉のクローバーでした。やりたいという気持ちから、粘り強く諦めない気持ち、失敗をどんどん経験することは大切なことだと思います。失敗しても気持ちを切り替え、立ち直る力は生きる力となると思いました。



・早朝の部屋へ入るとき、園児服の3つのボタンを留めていたC君「どうしてお部屋に入らないの？」と聞くと「今、ボタンしてる」「すごいね」と言うとMちゃんが「それって身だしなみっていうんでしょ？」「わあ身だしなみって知ってるんや。すごい」生活の中で色々な言葉を知っていくのは大切ですね。色々な経験や絵本を読んだり、教えるのではなく自然と子ども達は言葉を吸収していきます。

今年、ツバメに巣を作られてしまいました。
「ツバメに負けた」と言うと1歳のOちゃんが頭をなでて慰めてくれました。優しいね。



園庭で虫を見つけたS君、A君は本を持ってきてその虫を調べていました。「畑のジャガイモに虫がいるよ」というと2人は畑に行きました。K先生が畑でテントウムシを探していましたが中々みつきません。「いないね」というとA君は「いるよ」先生「どこに？」と聞くと本をみせて「ここ」笑い「確かに…」

